

日本の訓練／検定協力の取組等を少しでも多くの方にご理解いただくために、J-Skills Newsを発行します。

□ベトナム・カンボジア・インドネシアで2018年度現地事業評価を実施

SESPP事業の効果的・効率的な実施を図るため、対象国における技能労働者のニーズの把握、広報手法や取組職種・等級の検証、中長期的課題の把握等を行うことを目的として、活動対象国であるベトナムで1月18日（金）、カンボジアで1月21日（月）、インドネシアで2月22日（金）に官民合同委員会を開催しました。

メンバーは各国政府人材開発部局、業界団体、協力企業のほか、厚生労働省およびSESPP事務局、その他本事業に係る者で構成され、議題については、当年度事業の実施状況や成果、次年度実施に向けた提案、意見交換など、対象国の自立運営に向けた事業効果の検証を行っています。

（参考）詳細はSESPPポータルサイトにも掲載しています。 <http://sespp.mhlw.go.jp/>

■ベトナム

日時・場所	2019年1月18日（金）09:00-12:30；ハノイ工業職業訓練短期大学（HIVC）
参加者数	30人 ※政府、訓練校、企業など
今年度実施した職種の成果	<p>《北部（ハノイ）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋盤、フライス盤2級 学科試験問題データベース作成 ・旋盤2級 トライアル ・機械検査3級 トライアル、評価者認定 ・シーケンス制御2級 トライアル、評価者認定 <p>《南部（ホーチミン）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋盤3級 トライアル、評価者認定 ・機械検査3級 評価者講習、トライアル <p>《共通》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本技術研修（2週間、3名）シーケンス制御に係る技術指導研修、技能五輪大会の視察
次年度の職種に係る主な議論	<ul style="list-style-type: none"> ・南部の企業ニーズが極めて大きいため、機械検査に加えて、シーケンス制御も支援して欲しい。 ・日系企業では、機械製図、電気製図のニーズが極めて大きいことを知ってほしい。CAD など操作はできても図面を読めず、技能人材が不足する実態。企業が自助努力で養成するには限界があり、本事業で製図職種を取り上げ、技術指導、評価などしてもらいたい。



ベトナム労働傷病兵社会省のご挨拶



官民合同委員会の様子

■カンボジア

日時・場所	2019年1月21日（月） 09:00-12:15 ; 労働職業訓練省
参加者数	25人 ※政府、訓練校、企業など
今年度実施した職種の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・配電盤・制御盤3級 トライアル、技術指導研修、評価者認定 ・シーケンス制御3級 評価者講習、トライアル ・電気系保全3級 評価者講習、トライアル ・電工 技術指導研修、競技トライアル ・旋盤3級 試験問題作成研修、技術指導研修 ・日本技術研修（2週間、4名） シーケンス制御に係る技術指導研修、技能五輪大会の視察
次年度の職種に係る主な議論	<ul style="list-style-type: none"> ・電工職種については、中程度能力の層を厚く養成したい。 ・企業ニーズが高い機械保全、シーケンス制御等の実施職種の提案に賛成。また、工場火災での損害が多い現状を考えると、漏電ブレーカや工事時の溶接対策などビル設備管理などどうか。 ・活動が 10-12 月に集中したが、次年度は 7-12 月に分散させてほしい。



カンボジア労働職業訓練省の挨拶



官民合同委員会の様子

■インドネシア

日時・場所	2019年2月22日（金） 09:00-11:45 ; 松下グローバル財団
参加者数	22人 ※政府、企業・団体など
今年度実施した職種の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・金属プレス2級 トライアル、評価者認定
次年度の職種に係る主な議論	<ul style="list-style-type: none"> ・整備を進めてきた7職種については、2018年度で評価者認定まで完了の見通し。 ・次年度は新規職種に取り組む余地あり。インドネシア側でも預かり、職種を検討したい。



金型工業会 谷川事務局長のご挨拶



官民合同委員会の様子

第30回技能グランプリを開催 神戸

■ベテラン職人が熟練の技を披露

厚生労働省は、3月1日(金)から4日(月)まで、兵庫県神戸市で、第30回「技能グランプリ」を開催しました。

技能グランプリは、1981年から始まり、現在は1年おきに実施しています。一級技能士をはじめ日本中の優れた技能を持つ職人が、その熟練の技能を競い合う技能競技大会です。国の技能検定で高い技能を認められた技能士たちが各種産業に貢献していること、その熟練した技が一般の人々の生活にもかかわっていることを発信し、技能の一層の振興をめざします。

■日本古来の伝統技能も

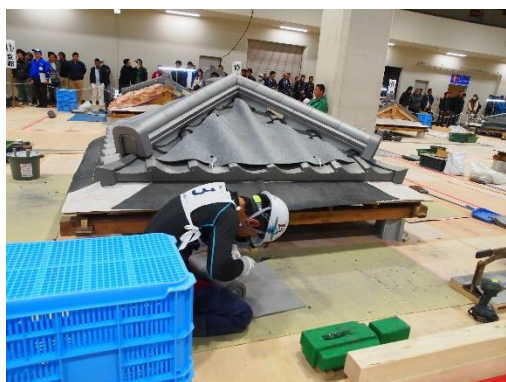
今回の技能グランプリには、日本中から533人の選手が参加。この大会の特色は、若年者向けの競技大会でも一般的な「機械組立て」「家具」「タイル張り」といった職種だけでなく、日本家屋で使う「かわらぶき」、襖や屏風をつくる「表具」、着物のしみ抜きや補正を行う「染色補正」など、熟練に長い期間を要する伝統的な職種の競技が含まれていることです。

選手たちは、皆その職種で広く高い技能を認められたベテランばかりであることから、その競技を見に来た人々は、惜しみなく出される見事な技に、深い感銘を受けていました。

■競技結果

30職種のそれぞれについて、優勝者には厚生労働大臣賞が贈られたほか、特に優れた技能を認められた4名に対しては、内閣総理大臣賞が贈られました。

(厚生労働省)



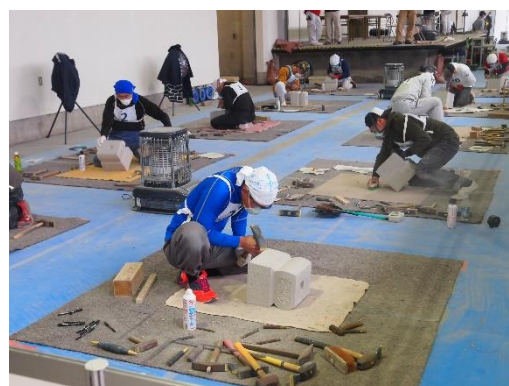
かわらぶき職種の競技



寝具職種の競技



日本料理職種の競技



石工職種の競技

□ 研修レポート

■ インドネシアにおける金属プレス2級の技能評価トライアル及び評価者認定

2019年2月18日（月）～21日（木）にジャカルタ近郊ブカシにあるPT. Komatsu Marketing and Support Indonesia (Cibitung Branch) にて、金属プレス加工2級の技能評価トライアル及び評価者認定を実施しました。金属プレス加工とは、金型を用いて、金属材料にプレス機械で荷重を加えて、成形等を行う、部品の生産に必要な技能です。

今回の技能評価トライアルを運営した評価者は Panasonic Manufacturing Indonesia、PT. H-one Kogi Prima Auto Technologies Indonesia、PT. Tekun Asas Sumber Makmur、PT. Tri Graha Sealisindoからの6名。技能評価トライアル受検者は4名。講師は、板井章人氏（パナソニック株式会社）でした。

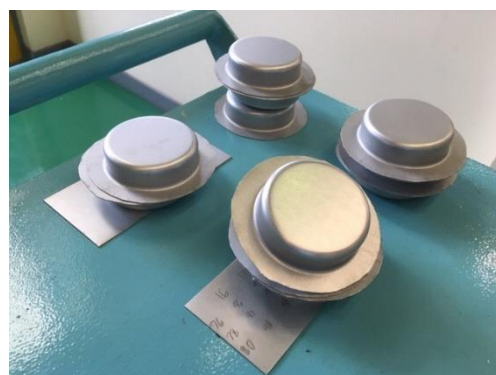
講師を担当された板井氏によると、評価者認定対象者6名のうち5名は過去3回共に学んできたメンバーで、準備から試験実施、採点に至るまで真面目で課題意識を持って取り組み、他の1名も同様に、今後活躍できる評価者であると確信したとのこと、6名全員、認定評価者として合格しました。



実技試験のトライアル（プレス機による成形）



現地評価者による実技試験の運営



完成した製作物



評価者による採点作業の様子

発行：SESPP事務局（株式会社JTБ 霞が関事業部）

『J-Skills News』に関するお問合せ

SESPP事務局（株式会社JTБ 霞が関事業部）

〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング23階
 TEL：+81-3-6737-9263 FAX：+81-3-6737-9266
 担当：安藤・栗原・風見
 E-mail：sespp@jtb.com